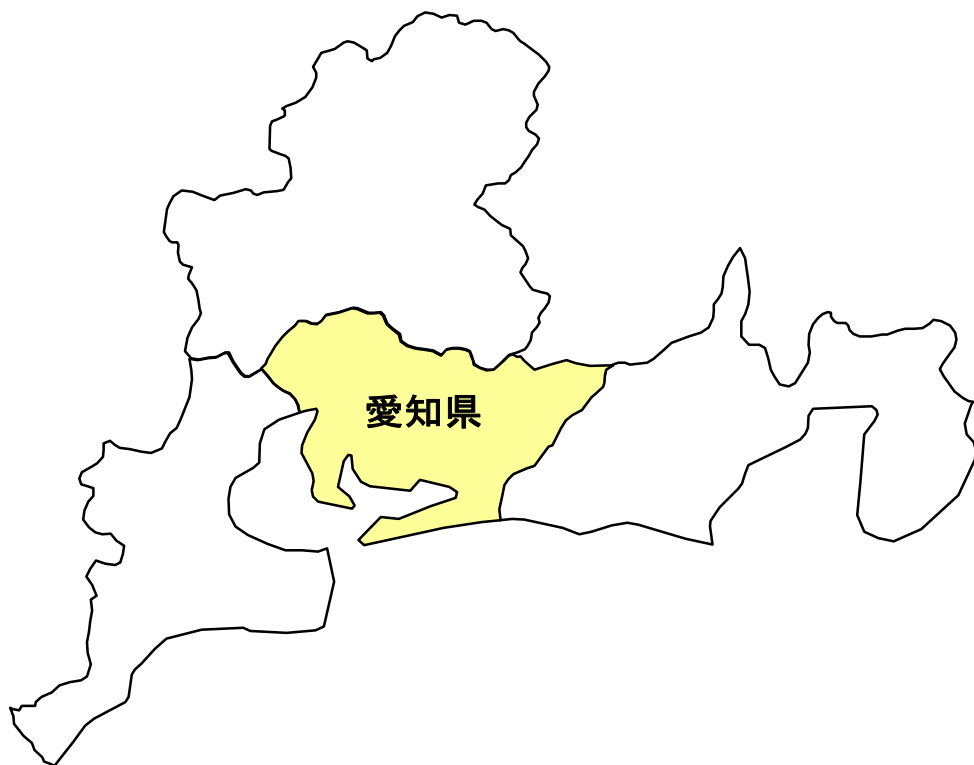


最近の愛知県内経済情勢について

(県内経済情勢報告)



令和8年1月

財務省 東海財務局

1. 総論

愛知県内経済は、緩やかに回復しつつある。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

【総括判断】

項目	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回との比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	

（注）8年1月判断は、前回7年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）
個人消費	持ち直している	持ち直している
生産活動	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある
雇用情勢	緩やかに改善しているが、企業の人手不足感は続いている	緩やかに改善しているが、企業の人手不足感は続いている

2. 各論

最近の愛知県内経済情勢における各項目の動向は、以下のとおりとなっている。

（主要項目）

個人消費は、持ち直している

スーパー販売は、持ち直している。コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直しつつある。ドラッグストア販売は、緩やかに回復している。百貨店販売は、緩やかに持ち直しつつある。家電大型専門店販売は、緩やかに回復しつつある。ホームセンター販売は、一進一退の状況にある。乗用車販売は、一進一退の状況にある。

生産活動は、緩やかに回復しつつある

自動車関連は、緩やかに回復しつつある。金属工作機械は、緩やかに持ち直しつつある。電気機械は、横ばいの状況にある。普通鋼は、横ばいの状況にある。特殊鋼は、横ばいの状況にある。

雇用情勢は、緩やかに改善しているが、企業の人手不足感は続いている

有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。完全失業率は、低水準である。法人企業景気予測調査の従業員数判断 BSI でみると、いずれの規模においても、また、製造業・非製造業いずれにおいても「不足気味」超となっている。

(その他の項目)

住宅建設 — 前年を上回っている。

設備投資 — 7年度は増加見込み。

公共事業 — 前年を上回っている。

輸出入(円ベース) — 輸出は、前年を上回っている。輸入は、前年を下回っている。

企業収益 — 7年度は増益見込み。

企業の景況感 — 全産業の現状判断(7年 10-12月期)は、「下降」超となっている。

企業倒産 — 企業倒産件数は、前年を上回っている。

3. 県内景気に関する地域の声

- ・ セール期間にまとめ買いをする傾向が見られるなど、消費者の節約志向は続いているものの、価格の高止まりから米の販売が前年を大きく上回ったことなどにより、食料品の販売は増加した。

(スーパー)

- ・ 米国向けについて、9月末に電気自動車の購入補助金が終了したためハイブリッド車のニーズが高まっている。現地での在庫がひっ迫するほど需要が引き続き強いことから、生産は堅調に推移している。

(輸送機械)

- ・ 原材料価格の上昇等が収益を圧迫しているとの声が幅広い業種で聞かれており、こうした状況が求人の減少につながっているのではないか。

(公的機関)

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 経済調査課

Tel.(052)951-2632(ダイヤルイン)

2. 愛知県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://ifb.mof.go.jp/tokai/>